

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信 第41号 2006年10月

やどりき水源林ニュース

発行 (社)かながわ森林づくり公社県民運動課 編集 かながわ森林インストラクターの会
 〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2
 ☎0465-85-1900 URL: http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin

やどりき水源林 定例観察会のお知らせ

毎日曜日午後1時より1~2時間の水源林をご案内する観察会をかながわ森林インストラクターの会【森の案内人】で行っております。参加希望の方は1時までに水源林ゲート前にご集合ください。費用負担等はございません。

秋！水源林に集う



インドネシアの竹製の楽器・アンクルンを演奏する「アンサンブル ペソナ」の皆さん

10月7日、前日の大荒れの天候から一変して秋の爽やかな空の下に、大勢の来訪者を迎えて「やどりき水源林の集い」が催されました。

お昼には寄地区民宿組合のご好意による鹿シチューのサービスもあり楽しい1日でした。

写真は、森の雰囲気にもマッチする柔らかな音色で、心地よく楽しませて頂いた、森のコンサートの風景です。



妙なる音色の草笛名人



木製の笛、コカリナを吹く「コカリナ プリランテ」の皆さん



ジャケツイバラ

十月八日は何の日？・・・「十」と「八」を組み合わせると「木」になりますね、正解は「木の日」です。
 木の日は1977年に日本木材青壮年団体連合会等の提唱で生まれたもので、木の良さを見直し、木材を大切に使い、木に感謝するそしてその木を生み出した森林のことを考えることを目的としています。

水源林の上流部、源流付近に咲く花

9月末に水源林の上流部を歩いてきました。そこではコシオガマやイワシャジンが、それにシラヒゲソウは丁度見頃という感じで、それぞれ可憐な姿を見せてくれました。



コシオガマ

ゴマノハグサ科コシオガマ属 上部の葉の付け根に淡紅紫色で約2cmの唇形花をつける



シラヒゲソウ



ユキノシタ科ウメバチソウ属
 花びらの縁が糸状に細かく裂けるのを白髭と見た



イワシャジン

キキョウ科ツリガネニンジン属
 長さ30～70cmの細い茎に鐘形の花を総状につける



カエンタケ

要注意！猛毒のキノコです。
 9月下旬、Aコースで見つけられたもの

今月のピックアップ

- ・要・注意！！最近、寄の集落や水源林の林道周辺でツキノワグマ出没の情報がありました。
- ・ツリフネソウが咲いています。場所は寄大橋を渡り、林道の右側を探してみてください。

ツキノワグマ

- ・一般に人を避ける傾向を持つので、声等で人がいる事を知らせると良い。
- ・遠くにいる時は様子を見ながら離れる。
- ・なるべく走らない。クマは逃げるものを追う習性を持っている。
- ・親子グマは特に危険。従って子グマを見つけた時は絶対に近づかないこと。

来月の見所

- ・各種の果実が実ります。コクサギ、ミヤマシキミ、アブラチャン、ジャケツイバラ、キブシ、サンショウ、サルナシ、コナラその他
- ・紅葉が真っ盛りに・・・
- ・ジュウガツザクラは見頃？